

平成30年度  
第3回南相馬市鹿島区地域協議会  
鹿島区地域ビジョンの見直しに向けて

# 住民主役のまちづくりへ

～事例からみた

今後のまちづくり～

株式会社 千代田コンサルタント  
2018.05.16  
小金澤 実

1

I. まちづくりの現状

II. 今後のまちづくり


6

# I. まちづくりの現状

1. まちづくりの背景と役割
2. 今日のまちづくり
3. まちづくりの事例紹介

7

## 1. まちづくりの背景と役割

- これまでの都市計画の中で、「ハード」と「ソフト」を有機的に組み合わせた活動が『まちづくり』と呼ばれるようになり、時代と共に広がり可能性を見せるようになってきた
  - 人々の価値観は多様化してきており、これらを背景に、まちづくりの活動領域は日々進化を続けている
  - これは、同時にまちづくりにかかわる人同士の価値観をすり合わせながら、まちの将来像を共有することの大切さを示している
- 
- 住民参加から住民主体へ

9

## 2. 今日のまちづくり

今日の日本では、経済の発展や地域活性化を実現するとともに、美しい景観や潤いのある生活環境を両立し、都市の魅力を高めることが求められるようになってきた

このような背景の中、成熟した都市にあっては、「ハード」と「ソフト」を有機的に組み合わせた『まちづくり』と呼ばれる多様性を持った活動が登場してきた

つまり、今日のまちづくりは、時代のニーズや社会動向を契機として、様々な形態で発展・進化を続けている

11

### ◆多様化するまちづくりとは

今日のまちづくりには、様々なテーマが見られる

- ①防災・復興まちづくり
- ②歴史まちづくり
- ③観光まちづくり
- ④福祉まちづくり
- ⑤交通まちづくり
- ⑥低炭素社会まちづくり
- ⑦サステイナブルまちづくり
- ⑧景観まちづくり
- ⑨環境共生まちづくり
- ⑩防犯まちづくり などなど

\* 今後も、社会ニーズと共に新たな展開が想定される

12

# コーヒーブレイク ①



## なぜ長野県が長寿日本一になったか

- |         |           |
|---------|-----------|
| ①減塩     |           |
| ②野菜     | 日本一の摂取量   |
| ③生きがい   | 高齢者就業率日本一 |
| ④歩け歩け運動 | ロコモティブ症候群 |
| ⑤いい油    | えごま油、くるみ  |

**\* 何が一番影響したか？**

出典：鎌田 實（諏訪中央病院 名誉院長） 講演会より

13

## 3. まちづくりの事例紹介

- (事例1) 狩野川コリドー構想の推進に向けた地域連携と交通連携の取り組み（静岡県伊豆地域）  
\* **線**（川、道路、鉄道）から**面**へ
- (事例2) 世田谷線沿線地域のRPM（東京都世田谷区）  
\* **線**（鉄道）から**面**へ
- (事例3) 織物市場を活かした住民参加のまちづくり（埼玉県川越市・市民・全国からの応援団）  
\* **点**（織物市場）から**面**へ

15



## 事例 1（観光・地域活性化）

### 狩野川コリドー構想の推進に向けた 地域連携と交通連携の取り組み

16

#### ◆業務の概要

本業務は、静岡県東部都市圏地域における連携した**地域づくり・地域連携強化支援**の観点から、この地域を流れる狩野川沿線地域において「狩野川コリドー構想」の実現に向け、**地域活性化や観光振興**等、新たな地域づくりに向けた利用促進具現策の検討を目的とした。

#### ◆主なアウトプット

- 官民連携**（沿川住民主体）の**体制づくり**
- 地域連携**による**イベント・社会実験の実施**
- 沿川地域**共通のサイン計画**（マニュアル作成）
- 地域資源活用マップ**（清掃・イベント企画）
- 沿川**地域マップ**（テーマ別周遊ルートを**WG**で作成）
- 周遊拠点の形成（**新たな拠点形成**）
- 国・県・6市町・民間諸団体で構成する**協議会の運営**

17

# 狩野川コリドー整備構想

## ■狩野川コリドーのコンセプト

### 地域内ネットワーク

地域全体の中でのトータルな考え方と地域連携

連続性

地域の連続性の確保・  
地域と川の一体感

ゾーニング

「場」の特性に  
あった地域整備

整備内容

歩行(散策)・  
自転車を活かした  
交通施策・地域整備  
(ソフト・ハード)

- ◎地域の魅力、活力の向上には、地域全体が一体となったまちづくりが必要
- ◎地域の中心に狩野川という軸があり、その空間や連続性を活かしたまちづくりを進める

道路・交通

活性化

まちづくり

狩野川の河川空間を活用した自転車・歩行空間の整備が必要

## 狩野川コリドー

## ■必要サインアイテムとデザイン

### ハード整備

案内サイン		記名サイン	
<p>全体案内サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コリドー軸、回避軸全体の表示</li> <li>・大拠点、中拠点など(公園内) <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津セントラルパーク</li> <li>・リバーサイドパーク</li> <li>・狩野川記念公園</li> </ul> </li> </ul>	<p>沿川周辺案内サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コリドー軸を中心に回避軸を含む沿川地域の案内(エリア約10km*6km)</li> <li>・大・中・小拠点等</li> </ul>	<p>キロポスト記名サイン キロポスト案内サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キロポスト(現在地表示)</li> <li>・狩野川全体図で現在地を示す</li> <li>・近隣の橋梁、施設等の案内</li> <li>・キロポストの活用(板面の追加あるいは取り替え)</li> </ul>	<p>眺望点など記名サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山、狩野川など眺望点の記名と案内</li> <li>例:“とるば”の機能を取り入れる</li> </ul>
<p>案内サイン</p> <p>周辺案内サイン 施設誘導サイン 回避軸誘導サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狩野川を中心とした周辺案内図と誘導サインとの複合機能</li> </ul>	<p>誘導サイン</p> <p>施設誘導サイン コリドー軸誘導サイン 回避軸誘導サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川内や隣接する公園、トイレ、船着場など公共施設への誘導</li> <li>・コリドー軸から回避軸への誘導</li> <li>・コリドー軸の連続天橋~河川敷などの歩行路誘導化に対する誘導</li> </ul>	<p>誘導サイン</p> <p>施設誘導路面表示サイン コリドー軸誘導路面表示サイン 回避軸誘導路面表示サイン</p> <p>注意~迂回の表示 指示誘導</p>	<p>路面表示サインイメージ</p> <p>注意サイン</p> <p>横断注意 横断歩道前とまれ</p> <p>【路面利用の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面利用は支柱型の設置が難しい場合</li> <li>・路面表示の方がわかりやすい場合</li> <li>・自立型サイン表示がわかりにくい場合に利用</li> </ul>

- 維持管理体制の検討（アドプト制度など）
- 定期的イベントの開催（社会実験、清掃活動の地域連携など）
- 住民参加による拠点などの計画立案・整備（\*今後の展開として）

■アドプトプログラム（花の管理・清掃などを住民が行う）

河川環境アドプトプログラムは、環境美化ボランティア活動により、静岡県内の安倍川・藁科川・興津川において実践している



アドプトプログラムは、地域住民が、掃除や植栽などを自主的に行おうというものである。地域住民は、河川の特定の区間と養子縁組（＝アドプト）し里親となり、除草・清掃などの管理を行う。行政はこの活動を補助する

■道普請

金谷坂の石畳、平成3年に町民約600名が参加し、石を敷き詰めた「平成の道普請」で約430メートルが復元された



イベント・社会実験のちらし・ポスター

**新野川コリドー**  
**サイクリング & ウォーキング 2005** 雨天決行  
**11/20 SUN 9:00am START**  
**伊豆の国市中島運動公園**  
伊豆の国市中島運動公園は、雨天決行です。参加費は別途チケット販売予定です。受付 8:00~11:00

新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**サイクリング** 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。  
 スタート/8:00 伊豆の国市中島運動公園  
 ゴール/伊豆の国市中島運動公園  
伊豆の国市中島運動公園は、雨天決行です。参加費は別途チケット販売予定です。受付 8:00~11:00

**ウォーキング**  
 スタート/8:00 伊豆の国市中島運動公園  
 ゴール/伊豆の国市中島運動公園  
伊豆の国市中島運動公園は、雨天決行です。参加費は別途チケット販売予定です。受付 8:00~11:00

**社会実験 実証**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**ドライブレンタルサイクル・ウォーキング**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**乗り捨てできるレンタルサイクル**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**手荷物運送サービス**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**アンケート**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**リバーシップ静岡川**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**コリドーマーケット**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**コリドーわくわくランド**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**主催/新野川コリドー利用促進委員会**  
 新野川のそばに咲く花、活用するおもしろイベントの中で社会実験を実施いたします。ご参加、ご協力をお願いいたします。

**お問い合わせ**  
 http://www.cbr.mil.go.jp/numazu/  
 055-934-2008  
 03-5874-5170

## 開催内容

サイクリング、ウォーキングを中心に、狩野川の河川空間を最大限に活用してイベントを展開。また、狩野川のよりよい利用、活用を図るために、イベントの中で**社会実験**を実施

### ●手荷物の無料配送サービス

#### ●会場風景



#### ●サイクリング



#### ●ウォーキング



22

## 他の開催内容

主会場における、サイクリング、ウォーキングの他に、新たな河川空間活用の可能性を模索し、賑わいを創出するため下記のイベントを実施

### ■リバーシップ狩野川

- カヌー体験教室
- フライ
- フィッシング教室



### ■乗り乗りコリドー

- ペロタクシー体験乗車
- 変わり種自転車の乗車



### ■コリドーマーケット

- 沿川市町によるPRブース
- 協議会メンバーによる物販や事業PR
- 狩野川漁協や地元団体等による物販 など



### ■コリドーわくわくランド (地域の名人大集合！)

- 竹トンボづくり教室
- 水棲生物観察教室



23

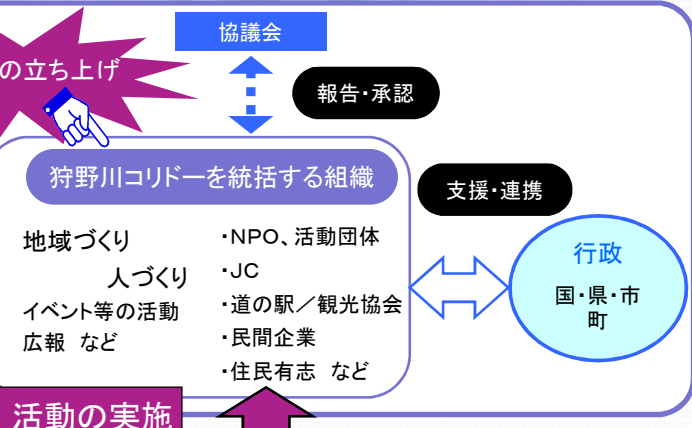


## ■ 利用促進体制の構築

### 新たな組織への発展と仕組みづくり

狩野川コリドー全体を統括する組織をつくり、協働による川づくり、まちづくりへと発展させる

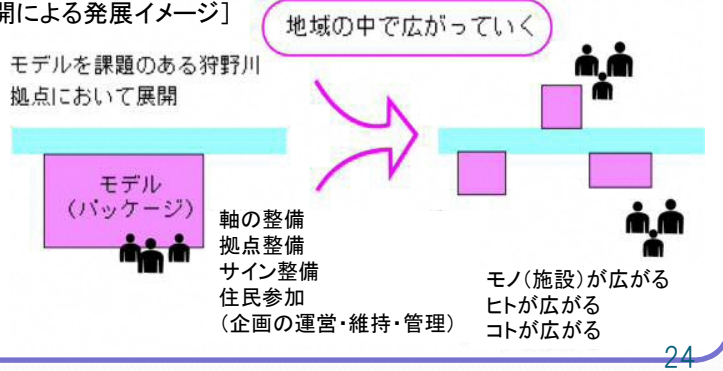
### 新組織の立ち上げ



### 協働によるモデル事業の検討

早期対応が可能な箇所をモデルとして位置づけ、支援事業等の活用により、検討、具現化を図る(ワークショップ形式)

### [モデル展開による発展イメージ]



## ■ 新たな展開の必要性

### 課題を見据えた 新たな展開の必要性

#### ● 理念の明確化

- ・「狩野川コリドー憲章」による理念の明確化 (もう一度、原点に立つ)

#### ● 具体的な成果へと結びつける

- ・相応しい形による実践
- ・実践から、発展させ拓げていく

#### ● シーニックバイウェイとの連携

- ・伊豆地域における独自性の展開

#### ● 住民主役の必要性

- ・住民の発意と要望による整備の必要性
- ・地域でつくる、地域で守る、地域で育てる

#### ● 方向を見据えた新たな仕組みづくり

- ・全体をマネジメントする主体の必要性
- ・利用者の立場に立った施策へ

新たな受け皿／  
仕組みの必要性

今後の狩野川コリドーの展開

## 事例2

### 世田谷線沿線地域のRPM（東京都世田谷区）

#### \* 線（鉄道）から面へ

\* 本資料は、公益財団法人 国際交通安全学会に著作権があります関係で、  
本日はPPTでの説明とさせていただきます。

26

## 事例3（歴史まちづくり）

### 織物市場を活かした 住民参加のまちづくり

～『歴史のまち川越』における新たなまちづくりに向けて～

36

## 川越市の概況

位置	埼玉県南西部（東京都心より約30km）
面積	109.13km <sup>2</sup> （平成30年2月現在）
人口	約35.2万人（平成30年2月現在）
交通	古くから交通の要衝として栄え、今日でも 鉄道：東武東上線、西武新宿線、JR川越線、有楽町線、副都心線 道路：関越自動車道、国道16号、同254号などの幹線が交差し、 首都圏中央連絡道路（圏央道）も開通が進んでいる
産業	農業、商業、工業がバランスよく発展
歴史的 観光資源	蔵造りの町並みや時の鐘、川越城本丸御殿、喜多院など、多くの歴史的観光資源や、川越まつりをはじめとする各種イベントが通年繰りひろげられている
観光客	年間704万人（平成28年度／年々増加傾向）

37

## 川越市の歴史的資源とまちづくりの方向性

川越市では多くのまちづくりに関する計画において、  
歴史を生かしたまちづくりが展開されています



蔵造りの町並



時の鐘



38

## 織物市場の紹介

- 「旧川越織物市場」は、明治初期に流行した「川越唐棧」などの織物の集散拠点として、明治43年、旧鉄砲町（現松江町2丁目）に開設  
「川越唐棧」：唐棧は、紺地に赤や浅黄、茶、灰などを縦じまに織った綿織物。川越は幕末から昭和初期まで手機（てばた）による唐棧の産地として有名になる
- 織物市場は、広い中庭とそれを挟んだ東西2棟で構成され、東棟は組合事務所の他10店舗、西棟には12店舗、2階は倉庫として利用
- 建物は、木造2階建ての伝統的町屋の形態を基本としながら、規則正しく配置された部屋割りが特色
- 明治の面影を今に伝えていることから、三国蓮太郎主演の映画「無法松の一生」のロケ地として使用
- 織物市場に通じる立門前側からの入口には、昭和初期の洋風建物や、「栄養食配給所」と記された建物もあり、レトロな空間を演出（タイムスリップを体験）

39

## 織物市場の紹介



40

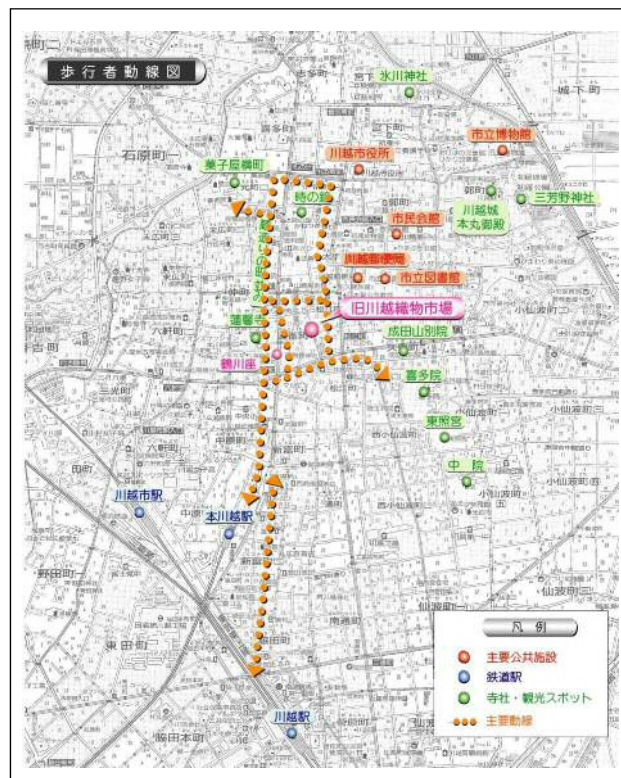
## 織物市場の紹介



41

## 基本方針

- 川越市との『協働』による住民参加のまちづくりの推進
- 利用促進を図る施設メニューの検討
- 織物をテーマとした他都市との連携
- 新たな中心核機能の創出
- 景観創出の先導的役割
- 新たな観光ルートの整備
- 高齢社会、バリアフリー化、国際化等への対応



42

# 保存再生計画（案）

## 旧川越織物市場活用計画（案）



施設区分	内容	備考
歴史・文化施設	・旧川越織物市場を基本とした織物ミュージアム	
	・市立博物館の分館としての連携利用	
コミュニティー施設	・地域住民の集会施設	住民管理
	・各種カルチャー教室	
	・市民ギャラリー	
観光案内・都市情報施設	・総合観光案内所(名所案内、お祭り、イベント情報、宿泊情報 など)	
	・都市情報の受発信(パソコン端末による各種都市・タウン情報の検索サービス など)	
商業・業務施設	・川越関連商業(飲食)施設(いも菓子、いも料理、地ビール、その他)	レストラン・カフェ等
	・川越関連織物等産業施設	物販
	・新しい発想の民間アイデアによる貸店舗	
	・SOHO支援としてのオフィス利用	
	・上記を集めた複合的施設	
広場	・定期的なイベント企画	
	・休憩施設	オープンカフェ等
その他	・公衆トイレの整備	
	・サイクルポート(パーク&サイクルライドの支援)	

43

## ☆ 今後の課題

- ➡ 保存・再生(活用)に向けた体制づくり
- ➡ 住民参加のまちづくり ⇒ **市民・各種団体・大学・全国からの応援団**
- ➡ 管理・運営方法 ⇒ **マネジメントのあり方**
- ➡ 「旧川越織物市場保存・再生基金」
- ➡ 都市・観光情報の(新たな情報発信基地)
- ➡ 『川越らしさ』の演出と快適な歩行空間の創出
- ➡ 歴史的景観の保存 ⇒ **歴史まちづくり法の認定(H23.6.8)**
- ➡ 歴史的・文化的資源の再整備

44

## コーヒーブレイク ②



### 今後の注目されるキーワード

#### ①観光

- ・インバウンドの取り込み  
東南アジア系は、食と買い物  
西洋系は、歴史・文化
- ・2020年 4,000万人／2015年の約2倍  
東北の観光復興 2020年 150万人／2015年の約3倍
- ・DMO

#### ②健康

- ・元気な住民による医療・福祉費用の大幅な軽減
- ・生き甲斐をもった明るく元気な地域づくり

45

## Ⅱ. 今後のまちづくり

1. まちづくりから見えてくるもの
2. 今後のまちづくりに向けて

46

## 1. まちづくりから見えてくるもの

どこから、何から始めたらいいいのか？

⇒ 内外の人とのネットワークの活用

あったらいいな、できたらいいな

⇒ みんなで創る、みんなで実現する

誰かがやるだろう

⇒ 私たちがやる

48

## 2. 今後のまちづくりに向けて

### ◆多くの課題とキーワード

- 防災／減災のみならず、高齢化、人口減少、ICT等情報技術の活用、観光(インバウンド・民泊対応)、古民家再生、低炭素社会、エネルギー、健康 など
- 立地適正化、コンパクトシティ、サステイナブル、既存ストック活用、空き地・空家の活用 など
- 都市のマネジメント、エリアマネジメント、民間のノウハウと資金を活かしたPPP・PFI、NPOとの連携、官民連携など各種マネジメントへの期待 など

⇒ 社会環境の変化への柔軟な対応と先見性(新たな課題が山積)が不可欠

これからは、皆さんが主役(パートナーとしても)

50



## そのためには、**新たな視点と発想**が必要

- まちづくり(鹿島区)が**めざすもの**は何か
- 住民相互はもとより**地域連携の必要性**
- 文化の継承と**新たな顔づくり**
- 住民が共に享受できる**仕組みづくり**
- そして**持続可能なまちづくり**

51

## そのためには、**行動**が必要

- 現在と将来に向けて、時には俯瞰しつつも
- 今すぐにできるものを見きわめる
  - そして、**できるものから着実に**取り組む
    - ◆住民だけで解決できるもの
    - ◆行政や他地域との連携が必要なもの
    - ◆行政の支援が必要なもの
- 動きが、形が見えてくると** ⇒ **元気が出てくる**  
このあとの引き続き皆さんで協議してみませんか

52

# ご清聴ありがとうございました

まちづくりは、支える人と継続性です  
つまり『ひと・こと・もの』の文化的資源継承

株式会社 千代田コンサルタント  
小金澤